

6 本時の学習指導

(1) 目標

円の形をしたものの中心を見つけることから、円の直径について知り、その性質を調べる。

(2) 学習指導過程

意 意欲化 個 個別指導 評 評価

学習活動	予想される子どもの意識の広がりや深まり	教師の支援(援助)活動と評価	資料
1 本時の学習問題をつかむ。	円を中心を見つけよう。	T1 T2	
2 中心を見つける方法を考え、中心を見つける。	<p>中心からまわりの線までの長さはどこも同じだったな。これを使って、考えられないかな。</p> <p>同じ大きさの薄い紙を折ってみよう。 方眼紙の上において考えよう。 コンパスを使って考えてみよう。</p> <p>きちんと重なるように半分に折ってみよう。 まわりの線に気を付けておいて、何マスか数えてみよう。 円のまわりとコンパスの芯が重なる場所はどこかな。</p> <p>折り目の交わったところが中心だろう。 一番長いところのマス目の数の半分のところが中心だろう。 コンパスの針から円のまわりまでの長さがどこも同じところが中心だろう。</p>	<p>意 進んで円を中心を探す活動に取り組むことができるよう、円を中心からずれたところに軸をさしたこまを準備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心を探す活動の時間を十分に確保できるよう、円の形を切り抜いたものを人数分準備しておく。</li> <li>中心と円周までの距離が等距離であることを生かして、円を中心を見つけることができるよう、前時までの学習内容を掲示しておく。</li> <li>紙を折って考えられるよう、同じ大きさの薄い紙の円を用意しておく。</li> <li>マス目を数えて中心を考えることができるよう、透明の方眼を準備しておく。</li> <li>つまづいている児童に対しては、他の方法で考えてみるよう、助言する。</li> </ul>	こま
3 直径を知る。	<p>コンパスなら中心がどうか確かめられるよ。</p> <p>やっぱり交わったところは中心だったね。折った線と方眼紙で数えた線は重なるよ。同じ考え方なんだね。どのやり方もみつかるけれど、折る方法が一番簡単で早くみつかるよ。一番簡単な紙を折る方法で中心をみつめてみよう。</p>	<p>個 早くみつけることができた児童には、他の方法でみつけさせたり、みつけた点が中心である方法を確認する方法を考えせたりする。</p> <p>個 自力解決が難しい児童には、正方形のこまの真ん中を探した方法を思い出させる。</p>	つま楊枝
4 直径の性質について話し合う。	<p>円の中心を通過して、円のまわりからまわりまで引いた線を直径というんだな。</p> <p>直径のひみつを見つけよう。</p> <p>折り目の長さを測ってみよう。 折り目はいくつあるのかな。 半径の学習とつないで考えよう。</p> <p>直径の長さは半径の2倍だな。直径を半分にしたところが中心という言い方もできるね。 円には直径がいくつもあるんだな。 直径って円の中で一番長いんだな。</p>	<p>評 円の中心をみつける方法を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半径の学習とつないで考えられるよう、前時に学習した内容をまとめておく。</li> <li>個 たくさんみついている児童を賞賛し、さらにひみつつけへ長さや数に着目するよう、声をかける。</li> <li>個 自力解決が難しい児童には、長さや数に着目するよう、声をかける。</li> <li>直径はどこも同じ長さであることや円の中で一番長いことがわかるよう、実際に長さを測ってみせる。</li> <li>円には直径がいくつもあることに気付くよう、何回か目の前で折ってみせたり、線をかいてみせたりする。</li> </ul>	円の形の紙、ものさし、コンパス、透明の方眼
5 本時のまとめをし、次時の課題へとつなぐ。	円の中心のみつかり方がわかったよ。これでよくまわるこまが作れるよ。	<p>評 円の中心を見つけることによって、直径の意味、直径と半径の関係、直径の性質がわかる。</p>	掲示用の円

(3) 評価

- 【考】円を中心を見つける方法を考えることができる。
- B：紙を折るなど、円を中心を見つける方法を考えることができる。
- A：円を中心を見つけた後、コンパスやものさしを用いて、円を中心を確かめることができる。
- 【知】円を中心を見つけることによって、直径の意味、直径と半径の関係、直径の性質がわかる。
- B：直径の意味を知り、直径の性質を調べることができる。
- A：直径の性質や円の中心や半径との関係について、それぞれ関連づけて理解できる。